

玉幡小ホームページ <https://www.city-kai.ed.jp/rtsho/> から学校の様々な情報を見ることができます。



甲斐市立玉幡小学校 令和元年度 学校だより 第15号

# チーム玉幡

令和元年11月14日

学校長 丸茂和也

## ♪ みんなで楽しく！ゲーム集会♪

11月7日(木)に、児童会主催のゲーム集会が行われました。児童会役員を中心に6年生がリーダーとなり、当日までの準備を行い、縦割り班のみんながどうすれば楽しめるかを一生懸命に考え、運営をしてくれました。どのゲームにもそれぞれの思いや工夫があり、とても楽しめるものになっていました。

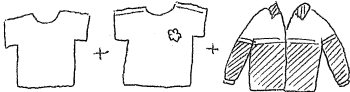
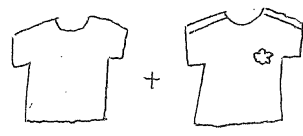
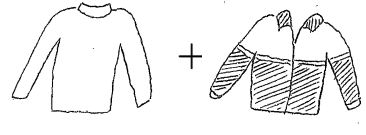


縦割り班は、上級生が自分よりも年下の子どもに対して、何かを教えようとしたり、守ろうとしたりしてくれます。そこで責任感がめばえ、リーダーとしての気持ちが育っていきます。自分から進んで下級生に順番をゆずったり、道具の使い方を手伝ったりする様子も見られました。とても素晴らしいことです。自分は人の役に立っている、人が喜んでくれている、それを自信や自己肯定感につなげていければと思います。また自分より年上の存在は、あこがれの感情につながり、自分が年上になったときに、「こんなことをしてあげたい」といった良い伝統がつけられると感じます。温かな絆が深まる良い機会となりました。

## ♪ 冬季の体育着着用についてお願いします♪

保護者の皆様、日頃より学校の教育活動に温かいご理解ご支援いただき改めて御礼申し上げます。冬が近づき、重ね着をする機会も増えてきました。生活安全面等様々なことを踏まえて、子どもたちの冬季の体育着の着用に関して、以下のようにさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

**体育の授業の服装は「冬の体育着の上下」でお願いします。**

	図	状態		備考
A		普通の肌着（半袖） +夏の体育着 +冬の体育着	○	一番望ましい服装です。
B		普通の肌着（半袖） +夏の体育着 (=夏季と同じ)	○	暑くなった場合はこれも可。
C		長袖インナーの上に 夏の体育着。  さらにその上に冬の 体育着を着ている。	○	学校の夏&冬の体育着だけでは寒い場合もあるので、これも可。 <u>これで登校してきて、途中で暑くなったら「D」になっても大丈夫です。</u>
D	 <b>冬の体育着の用意がない</b>	長袖インナーの上に 夏の体育着。 Cとの違いは、その上 に冬の体育着を着て ない、持ってきてもい ない。しかしにジャン パーなどを着てきて いる。	△	<u>※避けるように、ご理解ご協力をお願いしたいタイプです。</u>
E		長袖インナーの上に 冬の体育着。	○	問題はありません。 しかし体育着を脱いでしまうと、 体育授業中の服装としては適切でない ので避けてください。

※ズボンも同じように考えます。

寒ければ ①半ズボン ②長ズボン ③タイツ類 の順で重ねてください。

①～③まではいてきて、途中で暑くなり、①③になってしまっても可。

(単に「動きやすい」という理由で長ズボンをはかないのは避けてください。)

③のタイツについては足のけがの際、傷の手当てがしにくいので、足先まであるタイツははかない。

※以上です。ご覧になり、これからの体育着の着用にご理解ご協力を重ねてお願いいたします。

## ♪「褒める」ために「叱る」

子どもの笑顔のために・・・、子どもの健やかな成長を願う・・・、その過程では、子どもに寄り添い、努力を認め共に喜ぶことはもちろん、時には「叱る」ということも必要なことです。自分自身、子どもたちを叱った夜、なんであんな言い方をしたのだろう、という後悔におそわれることがよくあります。先日「褒めるために叱る」という言葉を聞きました。正しき方へ導くために、本当に相手のことを思うとき叱ることは愛情の一部ですが、それによって相手が気づき正しい方へ向かおうとがんばってれば、叱ったことを褒めることにつながられる、というものでした。子どもたちへの働きかけが、子どもやご自分にとって共に幸せなものでありますように・・・そんな願いを込めて、便りの最後の言葉とさせていただきます。

